

令和 4 年度 仙台総合ペット専門学校

【自己評価報告書】

令和 5 年 5 月 1 日



よりそうチカラを、キミに。

仙台総合ペット専門学校

《目 次》

項 目	ページ
1. 学校の教育目標	1
2. 本年度の重点目標と取組	1
3. 令和4年度 項目別自己評価	
(1) . 教育理念・目標	2
(2) . 学校運営	3
(3) . 教育活動	4
(4) . 学修成果	5
(5) . 学生支援	6
(6) . 教育環境	7
(7) . 学生の受け入れ募集	7
(8) . 財務	8
(9) . 法令等の遵守	9
(10) . 社会貢献・地域貢献	10
(11) . 国際交流	10

1. 教育目標

動物と人間のより良い共生社会の実現を目指し、動物に携わる職業の選択を可能とする専門知識や技術の修得を第一目標とします。また、少子高齢化、経済のグローバル化、社会や技術の進化の加速化という世界に共通する大きな社会変動の中でも、個人がその能力を発揮し、輝きを失うことなく意欲的に生きて行けるエンployアビリティ、ポータブルスキルとしての人間力（基礎学力・社会人基礎力・人間性）を身に付けることを目標とします。

2. 本年度の重点目標と取組

職業実践専門課程設置校として各委員会をとおり教育課程の充実を図るとともに即戦力となる職業人の育成に繋げるため企業と連携し授業の充実を図る。また、学生本人が納得できる就職指導を実践し、自ら考え行動できる就職への導き、さらにはペット業界で末永く活躍できる人材の育成と各科就職率100%を目指す。

3. 令和4年度 項目別自己評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	4 ③ 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
学校の理念、目的、人材育成像、特色、将来構想などが学生保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各科の教育目標、人材育成像は、科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 取組と課題

継続して学校が定める教育目標・育成人材像に加え、専門的な知識・技術・技能をより高めるための重点目標を各科で設定し、それらを達成するための計画的な指導に取り組んだ。また、コミュニケーション能力やビジネスマナーなど社会人としての教養を養い、即戦力となる人材育成にも取り組んでいる。日々変化し続ける社会のニーズに適った人材を輩出するためにも業界の将来を見据えた教育活動の展開をしていくことが今後も課題であり、そのためにも既存の企業・業界団体との連携強化はもちろん、新たな企業との連携を行う必要がある。学校生活・就職活動のサポートとして、学校側からの情報提供にとどまらず学校と保護者の連携を強化していくことを課題としている。

② 今後の改善方策

企業連携を深めるためにも、セミナーや研修など学生の知識・技術向上のための教育活動を進めていきたいと考えている。保護者との連携もより充実を図り、学校の方針、ペット業界への就職に関する状況の説明など、学生が直面する問題への理解を深める必要がある。また、企業・保護者だけでなく広く学校について知ってもらうためにもオープンキャンパスだけではなく SNS などでも学校の教育について積極的に周知していく必要がある。

③ 特記事項

各科が目標としている学習目標、目指す人材育成像についてはオープンキャンパスのなかでレジュメを用いて説明をおこなっている。また、教室・実習室に掲示をすることで日常的に目標の確認ができるようにしている。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
教務、財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に対する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 取組と課題

運営組織や意志決定機能は学園規程において明確にされ有効に機能しており、それぞれの職域のなかで業務に臨めるよう整備されているが、学内の情報システムの整備は十分といえない状態が続いている。SNS(Twitter、Instagram)での定期的な更新や、学生・保護者に向けてブログを発信し、普段の学校の様子や学生の過ごし方を発信することで、入学希望者やその保護者の進学意欲の向上を目的に行っており、今後も継続的な情報発信を行う必要がある。また、新しい情報発信の方法(tiktokなど)にも積極的に取り組んでいきたいと考えているが、情報発信を行う際は情報リテラシーに十分注意する必要がある。

② 今後の改善方策

学園内の情報システムは徐々に更新されているが、よりスピードを上げ業務の効率化を進める。また、更なる情報の発信を求め、tiktokの発信を行いたいと考えており、担当制やテーマを決め各科、定期的な更新ができるように努めていく。学内の情報システムに関しては学園が設置しているIT委員会に業務効率の改善に向けた新たなシステムの導入を依頼していく。

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
関連分野の企業関連施設等、業界団体等の連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するマネジメントが行われているか	4	3	②	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	②	1
職員の能力開発のための研修が行われているか	4	3	②	1

① 取組と課題

継続して行っているペットショップや動物病院での現場実習は将来のイメージを持たせる上で良い効果を与えている。社会の変化のスピードが速くなり、学生だけでなく教員側のスキルアップも求められている為、研修機会の拡充も今後の課題となる。

② 今後の改善方策

実店舗での研修やオンラインでの研修参加など専門的な知識向上だけでなく、学生対応についての研修機会も拡充していき、教員の質の向上を図る。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 取組と課題

学校全体の就職・資格（愛玩2級）・徐退率について以下の表にまとめた。

	令和4年度	令和3年度	増減
就職決定率	88.9%	92%	-3.1%
動物業界就職率	92.8%	96.5%	-3.7%
資格取得率（愛玩2級）	94%	96.8%	-2.8%
除退学率	6.3%	4.4%	+1.9%

就職決定率、業界就職決定率ともに昨年より悪化している。経済的な事情により動物業界の就職を諦めた学生やメンタル不調により順調に就職活動を進められなかった学生が多くいた。資格取得率についても下がっており、資格取得の重要性を学生へより丁寧に説明する必要がある。除退学率についても学園の目標である「5%以内」を超えた。国や県、学園の経済的支援があるため経済的な事由で除退学を検討する学生は少なくなったがメンタル不調で除退学をしてしまう学生が増えてきている。学生へカウンセリングルームの利用をさらに促し、保護者との連携もさらに強化する必要がある。

② 今後の改善方策

早期から学生の就職活動を促し、より多くのインターンシップを経験し自分にあった就職先を探してもらう事により、就職のミスマッチを減らしていき卒業後の活躍も継続的に追えるような体制を築いていく。メンタル不調の学生へは学内カウンセラーや保護者との連携をより強化し、サポート行っていく。

③ 特記事項

就職活動時の注意事項や過去のトラブルなど校内でまとめ、全教員が確認できるように体制を整えている。

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 取組と課題

国や県の修学支援制度や学園独自の修学支援など金銭面でのサポート体制を整えており広く周知されてきている。そのため、入学の際に利用する学生も増えてきている。また、コミュニケーション能力の低い学生や家庭環境が複雑な学生が増えてきており、多様化する学生への対応が求められていると感じる。卒業生から就職先の間合せも多くあるが、現状は各科担任が対応している状況になっており、十分なサポートが出来ていない。動物業界も人員不足が続いており、即戦力として働ける卒業生の需要は高いため、卒業生へのサポート体制の構築が必要になる。

② 今後の改善方策

引き続きオープンキャンパスなどの参加者や保護者へ国や県、学園で行っている様々な修学支援について説明を行い、金銭面での不安を少しでも軽減していく。多様化している学生に対してカウンセリングルームの設置や学校のサポート体制についてしっかりと説明していく。動物業界の人員不足解消のためにも卒業生サポートも充実させていく。

③ 特記事項

企業訪問データをまとめ、全教員が確認できる体制を整えている。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 (3) 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 取組と課題

新型コロナウイルスの影響が続くなか、校外研修もいくつか行うことができた。施設に関しても新たに学校付属の動物病院を作り、実習施設の充実化を図ることができた。エアコンの入替工事なども行い、その他の校舎の改修も行う予定ではあるが、世界的な原材料不足の影響で大幅に予定が遅れている。Wi-Fi 環境に関しても若干、使用できる場所は増えたが限定的であるため、今後もインターネット環境の整備が必要である。

② 今後の改善方策

業界のニーズに答える続けることができるように常に実習室の見直しは行っていきたい。校舎の老朽化も目立ってきたため、学生にもヒアリングを行い学生が求める学校作りを意識していく。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	(4) 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

① 取組と課題

引き続きオープンキャンパスやガイダンス、学校見学などで学校の魅力・特色をアピールしていく。しかし、複数回オープンキャンパスに参加する学生に対しては、飽きさせないような取り組みが必要と感じた。また、競合他校との差別化だけを意識するのではなく、取り入れるべきところは柔軟に取り入れること出来るような体制を築く必要がある。

② 今後の改善方策

オープンキャンパスでの説明は授業内容だけでなく学費や一人暮らしについてなど、学校生活以外の部分も保護者の方は心配をしているため、より丁寧で分かりやすい説明を心がける必要がある。少子化も深刻な問題なため、引き続き SNS 等での情報発信を積極的に行っていく。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適当に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 取組と課題

財務に関しては経理規程にもとづいて会計監査をはじめ、適切に運用されている。経理業務を正確かつ迅速に処理し、財務及び経営状況を明らかにして経営の能率的な運営と充実を図っている。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

財務情報公開をホームページで行っている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 取組と課題

法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がされている。

② 今後の改善方策

年度当初に職業実践専門課程に関する年間スケジュールを立て、自己評価の早期着手及び改善に向けた取組を実施していく。

③ 特記事項

自己評価結果公開をホームページで行っている。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 取組と課題

新型コロナウイルスの影響もあり、地域貢献活動など多くの課外活動を行うことが出来なかった。しかし、トリミング実習でモデル犬の協力をいただいている一般の方から利用料をいただき、集まった料金を地元で活動している保護団体などに寄付を出来るように体制を整えた。新型コロナウイルスの影響が少なくなれば、さらに地元への還元を行っていきたいと思っている。

② 今後の改善方策

新型コロナウイルスの影響下でも学生の安全を守りながら、ボランティア活動や動物関連イベントの等の協力など重要性もしっかりと伝えたいと、参加を促していきたいと考える。

(11) 国際交流（必要に応じて）

特になし